

KFCと尚絅学院大がつくる名取のメディア

ハナモモ通信

2018年 8月



ハナモモちゃん

【発行】
河北新報普及センター
【協力】
尚絅学院大 河北仙阪
【エリア】名取市内
【部数】11,600部
【電話】022(266)2991

増田川で川遊び満喫

身近な自然体感

夏休み中の親子ら35人が11日、増田川の親水公園で川遊びを楽しみました。

この取り組みは地域の世代間交流を通じ、歴史や文化を次世代につなごうとする市民団体「キラキラパルク増田西」と「増田西公民館」が主催しました。

開会式には、山田司郎名取市長も参列し「名取にはたくさん自然がある。今日は増田川でその自然を体感して楽しんでほしい」と挨拶しました。

当日は30度を超える真夏日となり、川遊びをするには最高の天気。子どもたち



は魚やカニを網で捕獲する「ガサガサ体験」で膝や胸元まで川に入り、生き物をつかまえました。

つかまえた生き物は数百匹となり、魚だけでもアユやヌマガレイをはじめ20種類以上、子どもたちからは生き物を捕まえるとお父さんやお母さん、団体のメンバーに「何か入ってる！なんていう魚？」と問いかける声があがっていました。

参加した庄司涼真さん（中1）は「暑い日に冷たい川に入れて、ザリガニやドジョウも捕まえることができてとても楽しかった」と話してくれました。

子どもたちはいかだ遊び、カヤック、紙パックで作った船のレースなども楽しみました。



山田市長は今回の活動に対し「増田川は身近にある自然。川に入ったり自然に触れたりする機会を子供たちに与えていただきありがたいと思う。またキラキラパルク増田西をはじめ、市民の皆さんが率先してこのような企画を設けてくれたり、語りました。

主催した増田西公民館・高橋守夫館長は「先日の雨で川の水量が心配されたが無事開催できてよかった。今回から新しい試みとして宿泊体験も行うが、住民の



方々に積極的にお手伝いいただき、地域の温かみを感じる」と話しました。

同じく、キラキラパルク増田西・伊藤宗男代表は「私たち自身、子どもの頃川で遊んだ思い出が残っており、今の子どもたちにも川遊びを経験させてあげたい。自然のなかでの遊びを通じて自然環境への配慮や『三間（さんかん）』（時間・仲間・空間）の大切さ



を養う機会を提供することができたと思う」と思いを語りました。

毎年この活動には尚絅学院大・稲澤ゼミ生が協力しています。表現文化学科の菊地美里さんは「子どもたちの貴重な体験をお手伝い出来て嬉しかった。これからもこのような活動が増え協力出来たらいいと思う」と話しました。

（星野裕太・遠藤正隆）



佐藤たこやき屋

ハナモモ記者が行く

名取産食べ隊

思い出の閉上の味 再現

名取市を中心に移動販売をしている「佐藤たこやき屋」をご存知でしょうか？

2013年3月から営業している「佐藤たこやき屋」は、東日本大震災で被害を受けた名取市閉上地区のソウルフード「閉上たこやき」の味をなくさないために、代表の佐藤幸弘さんがオープンしました。震災前、閉上地区では橋浦きよさんという方がたこやき屋を営んでいました。3つのたこやきを串に刺してソースにひたす独特の作り方が長年住民に親しまれていましたが、橋浦さんが震災の犠牲になられたため、閉上たこやきの味がなくなるおそれがありました。

震災後、佐藤さんが閉上たこやきの味を再現しようと考えたきっかけは仮設商店街「閉上さいかい市場」を手伝った際に、閉上たこやきの存在を知ったことでした。閉上の方が住む仮設住宅は移動手段がなく、「閉上たこやきを通して、閉上の良い思い出を語るきっかけになってほしい」という佐藤さんの思いがありました。仮設住宅に足を運び、閉上たこやきを何度も振る舞いながら住民の思い出を聞き出し、味を再現するために試行錯誤を重ねました。「味の再現は大変ではなかった」と話す佐藤さんは、「大変さよりも住民のみなさんにたこやきを食べてもらい、喜んでくれたのが嬉しかった」と笑顔で話していました。

実際に私も閉上たこやき（1串130円）を食べてみたところ、大きくてモチモチしたたこやきと酸味の効いたソースがマッチしてとてもおいしかったです。佐藤たこやき屋では閉上たこやきの基本は崩さず、松島海苔味（1串150円）や、炙りチーズ味（1串150円）など新商品も売り出しています。閉上の思い出がたくさん詰まった佐藤たこやき屋の閉上たこやきをぜひ、味わってみてはいかがでしょうか。（若生有吾）



佐藤たこやき屋

食品館イトー名取店
 名取市愛島郷一丁目1番地1
 (水曜日・土曜日営業 9:30~19:00)
 フーズガーデン玉浦 食彩館
 岩沼市玉浦西4丁目1番1号
 (木曜日営業 9:30~19:00)
 ※その他、地域のお祭りなどに出演しています
 TEL: 022-393-6607
 携帯電話: 080-4515-5518
 Mail: yukiyuzuhito@yahoo.co.jp
 ※記載の商品価格は全て税込です。

ありがとう「どんぐり図書室」

〜これまでも、これからも〜

12月19日に名取駅東口に移転予定の名取市図書館。現地で最後になる「図書館まつり 2018」があり、どんぐり図書室がこれまでも「これからも」が25日開催されました。震災後、日本ユニセフ協会をはじめたくさんの団体から支援を受け完成した木の温かみのある建物で、これまで市民に愛されてきた「どんぐり子ども図書室」「どんぐり・アンミンなの図書室」。8月31日の閉館を前に、多くの親子が集まり賑わいを見せました。まつりで行われたマジックショーでは、次々繰り出すマジックに子どもたちが歓声を上げていました。その他のコーナーでは、1人10冊まで好きな本をもらい

受けるブックリサイクル、葉を作る権利が与えられるスタンプラリーなども行われ親子一緒に楽しんでいました。アメリカ在住で、2人の子どもと帰国中の若松真理さん(37)は「私が住んでいる地域にはこのような子ども向けのお祭りがなく、今日は、私も子どもたちも楽しんでいきます」と話しました。

名取市図書館の柴崎悦子館長は「たくさんの方に楽しんでもらえるよう、催し物や縁日なども企画しました。例年より多くの方に来ていただきうれし。9月からの閉館期間中、皆さんにはご不便をお掛けしますが新しい図書館を楽しみにしてください」と述べました。



マジックショーの様子



ブックリサイクルの様子



熱心に葉を作る子どもたち

現在の建物は、新図書館に移転後、歴史資料館に生まれ変わるそうです。それもたのしみですね。
 (星野裕太)

ハナモモ通信からお知らせ

ハナモモ通信では「ハナモモ記者が行く名取産食べ隊」に掲載していただくお店を募集しています。

ご希望のお店は左記の連絡先まで、ぜひお問い合わせください。

【住所】

〒980-0022
 仙台市青葉区五橋1

の1の10

【TEL】

266-2991

【FAX】

227-8333

鳥山まで

メール: hanamomo-kfc@kahoku-fc.co.jp